

えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP <https://isawachu.edumap.jp>〉

生徒会総会



29日に総会（前期反省と後期計画）を開催しました。反省では、よいことばかりではなく、改善を求める内容が出されました。質疑のやり取りを通じてこれからのことについても具体的に話し合われました。全体として発言の数が多く、全学級からの発言を求める場面もあったのですが、スムーズに進行された会議となりました。確認したこと、決めたことの実行を通じて、これからも、よりよい胆沢中生徒会をめざしてほしいと思います。

高校から中学校へ

先日、地区内の高校の先生方とお話しする機会がありました。その中から2つ紹介します。

① 情報機器についてです。高校の授業ではキーボード入力を行う場面があり、ある程度のスピードでの操作はできるようになって入学してほしいということでした。

② 保護者の方にも、ぜひ高校の見学をしてほしいとのことでした。説明会や、学校へ行く週間などの機会を利用し、実際の様子を知ってほしいというお話でした。

冬季の安全



一気に冬模様となり、早い時期からの積雪が見られます。車両での送迎機会も増えているかと思えます。その際、生徒たちは駐車場と生徒玄関の間の校舎脇を通行しますが、校舎屋根からの落雪の危険があります。注意喚起を続け、安全に留意させたいと思っています。

このことに関わり、奥州いさわ会様より表示台2基を贈呈いただきました。その後、実際に利用させていただくことになります。ありがとうございました。

震災遺構 門脇小学校

私が、11月に石巻市で施設見学をしたことの紹介です。ここでは、子どもたちの避難が終わった後、津波とその後の火災による被害を受けたとのお話でした。現在、居住地域と緑地公園に区分した整備が進んでおり、当時の様子うかがい知ることはできませんが、建物から見える海までの距離や内部の様子から、震災について実感をもって学ぶことができました。想定しきれないのが自然災害ですが、自分に置き換えてみることの大切さを改めて感じました。

図書館給食

胆沢学校給食センターの取組のひとつとして、「図書館給食」が行われており、胆沢中の様子が新聞で紹介されました。同センター独自の取組であり、本の中に登場する料理が給食の献立に取り入れて提供されるものです。中学校では、衣川中『また同じ夢を見ていた（住野よる 著）』、胆沢中『薬屋のひとりごと（日向 夏原作）』でした。食事を通じて、読書に関心をもつ機会となりました。

面接練習

3年生の面接練習が本格化し、校長室での練習も始まりました。私からは次の2つのことを予告質問にしています。

- ① 中学校生活で自分から学んだといえることはどんなことですか
- ② 胆沢の宝物として紹介できることや、ものを教えてください

面接に限らず、話す時は相手に伝わる表現ができるようになってほしいと思います。

こども調査②「幸福感」

あなた（10～14歳）は今自分が幸せだと思いますか

そう思う	62.8%
どちらかといえばそう思う	31.4%
どちらかといえばそう思わない	3.9%
そう思わない	1.3%

幸せ（幸福）は、心が満されている状態を指す言葉です。色々な要素があるにしても、人間関係が良好で、信頼できる人が身近にいることが必要条件なのではないかと思います。調査では肯定的な回答が9割以上を占めています。

あなたは幸せですか、と問える状況にあることは、すでに良好な状態なのではないかと感じました。学校でも家庭でもそうした状況を維持できるようにしていきたいものだと思います。